

日本放射線科専門医会・医会  
CT/MRI 灌流画像の標準化に関するワーキンググループ第二回会議  
議事録

平成 16 年 9 月 16 日 大津プリンスホテル

出席者：井田正博、工藤與亮、黒岩大三、興相征典、佐々木真理、庄内孝春、前田正幸(オブザーバ)、三原太、百島祐貴、山田恵、渡辺嘉之 (アイウエオ順、敬称略)

1) 実践的ガイドライン草稿作成について

黒岩先生、庄内先生より CT グループの進捗状況の報告があった。草稿を実際に提示して頂き、ガイドラインの記載範囲、記載内容、勧告の強さ分類などについて意見交換を行った。引き続き作業を続けて頂くと共に、文献検索フォーム、抄録フォームなどの作成も平行して進めて頂くことになった。

渡辺先生、山田先生、井田先生より MRI グループの進捗状況の報告があった。数多くの論文を収集し、主に撮影条件、解析条件などについて批判的吟味を行っていることが報告された。引き続き作業を進めて頂き、CT グループとの整合性を意識した草案作成を進めて頂くことになった。

2) 各社の MR 灌流画像の用語、指標、解析法について

三原先生より標記に係る宿題報告があった。また、用語一覧表を作成して頂いた。一覧表は非常に参考になる内容のため、若干の修正を加え各社の了解を得た上で、本 WG ウェブページに掲載する方向で考えていくこととなった。

3) 各社解析画像の検証作業について

工藤先生より標記に係る進捗状況の報告があった。CT 灌流画像に関してはほぼ全社の解析が終了したこと、急性期脳梗塞でも MTT, CBF 値のソフト間差異が大きかったこと、各社にアンケートを出し解析に関する詳細について調査したこと、近日中に論文作成を開始することなどが報告された。

工藤先生より MR 灌流画像についても同様の解析を行うことができるソフトの開発が終了したことが報告された。各社の MR 灌流画像の元データおよび解析画像データを山田先生、百島先生、井田先生、三原先生に用意して頂き、工藤先生にご送付いただくことになった。その後工藤先生のほうで取りまとめ、各先生方に解析画像を作成していただくことで合意した。

4) ウェブページ立ち上げについて

百島先生より本件に関する報告があった。今後、関連サイトからのリンクを働きかける

と共に、内容をさらに充実させていくこととした。

5) 循環器病研究委託研究課題の応募について

佐々木より申請書の案が提示された。内容に特に問題がなければ、近日中に応募することとなった。また、渡辺先生から本 WG を循環器病研究委託畑澤班の分担研究者である渡辺先生の研究課題とした旨の報告があった。

5) その他

佐々木よりワーキンググループの成果発表予定について説明があった。日本脳卒中学会でのシンポジウムが正式決定したこと、CT パフュージョン研究会、日本神経放射線学会で活動報告をする内諾を得たことなどが報告された。

次回の会議は第 2 回 CT パフュージョン研究会の会期中(11/6/04, 東京)、次々回は第 34 回日本神経放射線学会の会期中(2/10-12/05, 名古屋)を予定することとした。

文責 佐々木